

## 令和6年度 学校関係者評価報告書

課題や改善方策について、学校関係者評価委員の方々から以下のような意見・提言をいただいた。

### 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・入学者増に向けてホームページ、SNS更新が不定期となった。

(委員の意見) SNSは若年層への情報発信に有効な手段であり、更新の習慣化が課題。学生と連携して定期的な発信体制をつくっていくとよい。

- ・教員の研究時間確保や授業改善に向け、業務の見直しと研修を実施した。

(委員の意見) 研修は教員間の情報共有にも有効であるため、引き続きテーマを絞って実践的に行ってほしい。外部との連携も今後の課題。

- ・外部ショーへの参加を通して学生に現場経験を提供したが、参加意欲に差が見られた。

(委員の意見) 積極的に関わる学生が成長している一方で、参加に消極的な学生へのアプローチも必要。学内での動機づけを強化してはどうか。

- ・学校主催のファッションショー開催により、学生の意欲向上を図った。

(委員の意見) 結婚式場という特別な会場で行われたショーは、学生にとって普段とは違う緊張感のある貴重な体験になったと思う。自分で作った作品を人前で発表する場があることで、達成感や自信にもつながったのではないかと感じた。会場の雰囲気も相まって、良い思い出として心に残る機会になったのではないかと感じた。

(委員の意見) イベントは刺激となるが、全員が等しく関われるよう、役割の工夫や事前のフォローを工夫してほしい。

- ・学生が主体的に考える指導を意識し、教員はサポートに徹した。

(委員の意見) 試行錯誤の時間を重視する姿勢は評価できるが、課題の質や量の調整も含め、学生の成長段階に応じた支援が引き続き必要。

- ・就職支援は個別対応を行ったが、情報の提供や進路決定のタイミングに課題が残った。

(委員の意見) 学生によって就職活動への意識に差があり、早期からの計画的な支援や、業界研究の機会をさらに充実させる必要がある。